

忍者関係資料データベース(日本)

書名	作者・監修	肩書き	出版社名	ISBN	発行年	値段(税込)	内容
忍術気合術秘伝	岡田 利助		東京催眠術学会		1916年		
忍術の極意	伊藤 銀月		武俠世界社		1917年		
忍術魔法秘伝	高田 俊一郎		神田武芸研究所		1917年		
忍術気合秘伝	武揚 軒建齋				1917年		
伊賀流甲賀流忍術の極意	武道研究所		国民書院		1934年		
忍術秘録	藤田 西胡		千代田書院		1936年8月		
甲賀山伏とその一族	大伴 茂		平凡社		1937年	1円80銭	
現代人の忍術	伊藤 銀月		巧人社		1937年		
忍術からスパイ戦へ	藤田 西胡		東水社		1942年		
現代文 藤正武・正忍記	訳編:森 銑三		日新書院		1944年4月	1円30銭	
忍術の話			伊賀忍道研究会		1952年7月		
甲賀流忍術	福山 松翠		人類科学研究所		1953年11月	260円	
実験奥義 忍術極意秘伝書 全			日本佛教新聞社		1955年		
忍術	足立 卷一		平凡社		1957年	230円	
どろんろん	藤田 西湖		日本週報社		1958年	260円	
忍術秘伝	奥瀬 平七郎		凡凡社		1959年5月	350円	
伊賀流忍術	奥瀬 平七郎		伊賀越遺跡保存会		1961年	60円	
忍術処世法	奥瀬 平七郎		読売新聞社		1963年1月	2000円	
これが忍術だ!	小山 竜太郎		久保書店		1963年	162円	
忍者の生活	山口 正之		雄山閣		1963年	600円	
忍者一代 武芸残酷物語	小山 龍太郎		久保書店		1963年		
忍術 その歴史と忍者	奥瀬 平七郎		人物往来社		1963年	3000円	
忍法 その秘伝と実例	奥瀬 平七郎		人物往来社		1964年6月	3000円	
真説・日本忍者列伝	小山 竜太郎		荒地出版社		1964年10月	430円	
忍法	足立 卷一		三一書房		1964年	230円	
忍者/忍法画報	冒険王編集部		秋田書店		1964年	280円	
忍術のすべて	小山 龍太郎		少年画報社		1964年	280円	
真説・忍者と忍法	小山 竜太郎		久保書店		1965年	220円	
あなたも忍者になれる	名和 弓雄		圭文館		1966年8月		
忍者の生活	山口 正之		雄山閣		1965年	1200円	
芭蕉と忍術のふるさと伊賀上野	上野市		淡交新社		1966年	650円	
忍びの武器	名和 弓雄		人物往来社		1967年	430円	
甲賀流忍者一代記	藤田 西湖		東都書房		1968年	390円	
忍者の生活	山口 正之		雄山閣		1969年	1200円	
忍秘伝	服部半蔵正成 編:沖森 直三郎		沖森書店		1971年1月		
必勝の兵法忍術の研究	名和 弓雄		日貿出版社		1972年	1900円	

忍者の系譜	杜山 悠	創元社	1972年	830円
秘録戦国忍者伝	宮崎 惇	桃園書房	1974年	
忍者チビッコ道場	監修:初見 良昭	曙出版	1974年	
忍法・超人の世界	大平 陽介	池田書店	1975年10月	
忍者トリック作戦	藤本 正行	学習研究社	1975年	480円
万川集海 忍器篇	訳:名和 弓雄	誠秀堂	1975年	864円
萬川集海	藤林 保義	誠秀堂	1975年	85000円
万川集海 陰忍篇	訳:藤本 正行	誠秀堂	1976年	864円
驚異 忍者のすべて	監修:小山龍太郎	フレーベル館	1976年	480円
忍者/忍法画報	少年チャンピオン編集部	秋田書店	1977年3月	600円
伊賀流忍術	上野市商工観光課	上野市観光協会	1977年7月	
戦国忍法図鑑	初見 良昭	新人物往来社	1978年4月	
忍者	戸部 新十郎	大陸書房	1978年	1500円
忍法皆伝 上	奥瀬 平七郎	上野市観光協会	1978年	1000円
虚像の英雄 忍者と盗賊	戸部 新十郎	日本書籍	1978年10月	880円
これが忍術だ	藤本 正行	ベストセラーズ	1978年11月	399円
レインジャー忍法	宮崎 惇	広済堂出版	1979年8月	380円
忍法皆伝 下	奥瀬 平七郎	上野市観光協会	1979年	1000円
忍者おもしろ百科	古賀 仁	永岡書店	1980年11月	
名古屋城忍者伝	岡本 柳英	名古屋城復興協会	1980年	980円
いま忍者	初見 良昭	潮文社	1981年1月	680円
万川集海 陽忍篇	訳:柚木 俊一郎	誠秀堂	1981年11月	980円
忍者の生活	山口 正之	雄山閣	1981年	2427円
忍術・手品のひみつ	監修:石和洋	学習研究所	1981年	699円
忍術論考	八切 止夫	日本シエル出版	1981年	1200円
戸隠の忍者	清水 席三	銀河書房	1982年8月	1500円
忍の里の記録	石川 正知	翠楊社	1982年10月	1800円
戸隠流忍法 体術	初見 良昭	新人物往来社	1983年4月	4800円
忍者・忍法大百科		勁文社	1983年10月	650円
君にもなれる忍者	初見 良昭	曙出版	1984年1月	680円
忍者のなぞ	太田 明次	学習研究社	1984年11月	640円
秘伝 戸隠流忍法	初見 良昭	土屋書店	1985年2月	1097円
忍者と盗賊 日本史・陰の人物誌	戸部 新十郎	河出書房新社	1986年11月	450円
甲賀の歲月	柚木 踏草	誠秀堂	1987年3月	4000円
忍者・忍法大百科2		勁文社	1987年6月	680円
正忍記 甦った忍術伝書	藤林 正武 訳:木村山 治郎	紀尾井書房	1988年4月	1100円
考証忍者物語	田村 栄太郎	雄山閣出版	1988年8月	2000円

忍者の履歴書	戸部 新十郎		朝日新聞社		1989年4月	437円	
伊賀国無足人の研究	久保 文武		同朋社		1990年11月	4854円	
忍者・忍法大百科			ケイブンシャ		1990年12月	830円	
忍術秘録	藤田 西胡		壮神社		1991年3月	7000円	
秘伝 戸隠流忍法	初見 良昭		土屋書店		1991年6月	1500円	
秘伝忍者サブミッション	初見 良明		勁文社		1991年12月	854円	
忍術極意秘伝書	伊藤 銀月		壮神社		1991年	6000円	
江戸城御庭番	深井 雅海		中央公論社		1992年4月	680円	
忍術・手品のひみつ	監修:名和弓雄		学習研究所		1992年5月	800円	
忍術の歴史	奥瀬 平七郎		伊賀上野観光協会		1992年6月	700円	
爆笑忍者伝	シブサワ コウ		光栄		1992年9月	971円	
甲賀流忍術屋敷伝	エボリューション		甲賀流忍術屋敷		1993年4月	1000円	
悪党・忍者・猿楽	山本 律郎		新人物往来社		1993年5月	1748円	
拳法極意當身殺活法明解	藤田 西湖		名著刊行会		1993年9月	7500円	
忍術秘伝の書	中島 篤巳		角川書店		1994年2月	1400円	
「忍たま乱太郎」に学ぶ忍者の教科書	菊地 馨		データハウス		1994年11月	971円	
乱太郎の忍者の世界	尼子 騷兵衛		朝日新聞社		1994年	680円	
忍術 その歴史と忍者	奥瀬 平七郎		新人物往来社		1995年7月	3000円	
忍法 その秘伝と実例	奥瀬 平七郎		新人物往来社		1995年9月	3000円	
忍者 戦国影の軍団	戸部 新十郎		PHP研究所		1995年10月	825円	
忍者の生活	山口 正之		雄山閣		1996年2月	2427円	
忍者と忍術	戸部 新十郎		毎日新聞社		1996年4月	1553円	
乱太郎の忍者の世界	尼子 騷兵衛		朝日新聞社		1996年4月	1500円	
忍術伝書 正忍記	藤一水子 正武 解説:中島篤巳		新人物往来社		1996年8月	7767円	
忍者と盗賊	戸部 新十郎		広済堂出版		1998年5月	495円	
煙りの末	黒井 宏光		伊賀上野観光協会		1999年3月	600円	
松尾芭蕉は忍者か	森崎 益夫		MBC21		1999年4月	2200円	
忍者の謎 戦国影の軍団の真実	戸部 新十郎	作家	PHP研究所	978-4569573595	2000年1月	514円	【改訂版】伊賀者、甲賀者、乱波、秀波、御庭番の足跡をたどり、忍術忍具、戦国江戸に生きた忍者の“特殊部隊”の実態に迫る
忍術極意秘伝書 現代人の忍術	伊藤 銀月	小説家・評論家	八幡書店	978-4893502773	2000年1月	2800円	【復刻版】忍術極意秘伝書
忍者図鑑	黒井 宏光	伊賀流忍者集団・黒党代表	ブロンズ新社	978-4893091987	2000年7月	1500円	これまでの常識をくつがえす忍者のほんとうの姿を忍者集団「黒党」の頭領が大公開。子どもから大人まで楽しめる本
忍びの里と甲賀武士	鵜飼 修三	新聞記者	甲賀新聞社	-	2001年1月	非売品	甲賀新聞社に掲載された、甲賀忍者を中心とする忍者の連載もの。非売品

いま忍者	初見 良昭	戸隠流忍術34代目継承者	潮文社	978-4806313489	2001年2月	1200円	【新装版1981年刊】自縄自縛の枠を破り余計な荷物をそぎ落とす。鮮烈・大胆に生きるための「武道のこころ」を説く超常識入門
忍者と忍術	戸部 新十郎	作家	中央公論社	978-4122038257	2001年5月	686円	【文庫版】歴史の闇に蠢動する忍者の正体とは…? 大作「服部半蔵」の著者が語る、忍者の源流と足跡を解説
甲賀流忍者一代記	藤田 西湖	甲賀流忍術第14世	壮神社	978-4915906602	2001年12月	5000円	【新装版】四谷伊賀町は伊賀者、神田の甲賀町は甲賀者、下輩の忍者は麻布の笄町辺に伊賀者と甲賀者を住ませた等
忍びと忍術	山口 正之	郷土史研究者	雄山閣	978-4639018018	2003年7月	2000円	【新装版】伊賀流・甲賀流に代表される忍術。忍者の掟、忍術と科学、忍術心得帖、忍者の記録を、史実にもとづいて再現
忍術秘録	藤田 西湖	甲賀流忍術第14世	壮神社	-	2004年1月	7875円	【復刻版】古典忍術本
OD版 忍者と忍術	戸部 新十郎	作家	中央公論社	978-4125505336	2004年1月	5460円	【OD版】歴史の闇に蠢動する忍者の正体とは…? 大作「服部半蔵」の著者が語る、忍者の源流と足跡を解説
伊賀流忍術隠火之巻	川上 仁一	甲賀流伴党21代目宗家	伊賀流忍者博物館	-	2004年4月	2000円	書き下し及び現代語訳 忍者博物館で販売
バジリスク 忍術と忍者の謎	せがわまさき	漫画家	講談社	978-4063348880	2004年8月	1200円	コミック 忍者 忍術 くの一 忍者の食 忍者の毒薬火薬忍者の実態、人の虚に入る忍者 現代も使える忍者の心理戦
最後の忍者 だろんろん	藤田 西湖	甲賀流忍術第14世	新風舎	978-4797494884	2004年11月	753円	【新装版】明治に生まれ、甲賀流忍術伝承者14代目となった作者の明治の東京での腕白ぶりや軍への協力の話等
概説 忍者・忍術	山北 篤	ゲームライター	新紀元社	978-4775303184	2004年12月	1900円	戦国時代に確かに実在した忍者は、超人的な活躍のキャラクター像だが、忍者の実像とは、歴史と創作の狭間を解き明かす
秘伝 戸隠流忍法	初見 良昭	戸隠流忍術34代目継承者	土屋書店	978-4806907855	2005年7月	2310円	【新装版】(1985年) 武道の哲学、忍法の哲学、法術と忍術など、忍ぶ世で生き抜いた忍者の姿と今日との深いつながりを語る
忍者の大常識	黒井 宏光	伊賀流忍者集団・黒党代表	ポプラ社	978-4591091166	2006年4月	880円	虚像の世界の忍者だけでなく、本当に存在した忍者。謎の多い忍者のすべてを解説
服部半蔵と影の一族	橋場日月	歴史作家	学習研究社	978-4059011880	2006年10月	660円	服部半蔵に着いての本。初代「半蔵」保長、家康の伊賀越え、二代・正成、その息子が三代・正就の足跡を辿り解説
戦国忍者は歴史をどう動かしたのか?	清水 昇	歴史作家	ベストセラーズ	978-4584122143	2007年3月	780円	徳川家康や毛利元就、伊達正宗などの戦国武将が忍者をどのように使ったかを解説。忍者の実態にスポットをあてて解説
忍者と剣豪への旅 関西エリア・ガイド	ユニプラン編集部	-	ユニプラン	978-4897042374	2007年4月	2500円	英語と日本語で紹介する、忍者と剣豪。日本の歴史に実在した忍者と剣豪ゆかりの地に、そのリアルな姿を訪ねるためのガイドブック
日本史の影でうごいた男たち	武山 憲明	ライター	ぶんか社	978-4821150960	2007年5月	638円	戦国忍者列伝
「忍たま乱太郎」に学ぶ忍者の教科書	菊地 馨	作家	データハウス	978-4887189546	2007年11月	1000円	【新装版】忍たま三人組や忍術学園の秘密など、「忍たま乱太郎」の謎を解き明かした研究本
戦国忍者列伝 80人の履歴書	清水 昇	歴史作家	河出書房新社	978-4309224787	2008年2月	1600円	実在したとされる80人の謎に迫る。戦国小説をより深く読むための恰好のガイドブック
裏忍者列伝	我妻 正義	脚本家	笠倉出版社	978-4773099041	2008年4月	476円	教科書が教えてくれない裏忍者列伝…歴史を駆け抜けた英傑たちが隠し続けた素顔など忍者歴史列伝
忍者検定読み本	甲賀忍術研究会	-	甲南町観光協会	-	2008年7月	250円	甲賀流忍術研究のシリーズ本
スーパー忍者列伝	川口 素生	歴史研究者	PHP研究所	978-4569670737	2008年9月	533円	実在忍者50人と小説等の架空の忍者10人を紹介。虚実が交錯し実像がつかみにくい忍者の世界を、個人別の列伝でまとめた
戦国忍者最強列伝	オークラ編集部	-	オークラ出版	978-4775512753	2008年11月	1260円	下克上の世に群雄割拠した英雄として位置づけた忍者を取り上げる。くノ一、望月千代女取りあげている
忍術秘伝の書*	中島 篤巳	作家	角川学芸出版	978-4046220615	2008年12月	3360円	【新装版】「正忍記」「万川集海」「忍秘伝」を主資料。兵法武術も引用し、心理学、医学、薬理学、物理学等の科学的説明もある
なるほど忍者大図鑑	ヒサ クニヒコ	漫画家、イラストレーター	国土社	978-4337251519	2009年1月	3800円	イラストや写真で、なぞに包まれている忍者の武器や道具、忍術や戦い方を紹介。その時代の生活や歴史も解説
忍秘展	伊賀上野観光協会	-	自費出版	-	2009年4月	500円	忍秘展パンフレット。沖森文庫の忍者、忍術関係の資料を図録としてまとめている。

忍術教本 忍びの秘伝31	黒井 宏光	伊賀流忍者集団・黒党代表	新人物往来社	978-4404035837	2009年4月	1700円	読売伊賀版「煙りの末」「続煙りの末」再構成。忍術研究者として、実演を通して手裏剣術や侵入術などの忍術を検証
忍者・忍術・忍器大全	歴史群像編集部	—	学習研究社	978-4054041205	2009年4月	552円	歴群『忍者と忍術』廉価版
忍者のすべてがわかる本	黒井宏光	伊賀流忍者集団・黒党代表	PHP研究所	978-4569673158	2009年9月	600円	びっくり忍者やおもしろ忍者の実像に迫る。年表から分布図、人物伝まで忍者解説。
江戸の隠密・御庭番	清水 昇	歴史作家	河出書房新社	978-4309225166	2009年9月	1680円	江戸幕府が諸藩の実態に調査するために隠密を使った。歴史的事件に関わった50余人をとりあげ、解説
戦国忍者列伝 乱世を暗躍した66人	清水 昇	歴史作家	学習研究社	978-4059012627	2010年5月	667円	戦国時代、忍者を使うことは常套戦略であった。どのように忍者たちは忍術や技を駆使して、乱世に暗躍したのかを追い求める。
戦国忍者クール列伝	九軍師	歴史ライター	中経出版	978-4806137238	2010年10月	710円	忍者の実態に少しでもちかづけるように、列伝の形で61人の忍者を紹介。また、忍者が用いた秘術・秘具も解説
忍者完全攻略本	黒井宏光	伊賀流忍者集団・黒党代表	スタジオタッククリエイティブ	978-4883934300	2011年1月	1575円	忍者歴史、衣装、食物、忍具、変装術などの忍術を写真とイラストで解説
忍術—その歴史と忍者	奥瀬平七郎	忍術研究者	新人物文庫	978-4404039705	2011年2月	700円	1963年発行「忍術 その歴史と忍者」の再版
ビジュアル忍者図鑑 1 忍者の仕事	黒井宏光	伊賀流忍者集団・黒党代表	ベースボール・マガジン社	978-4583103891	2011年6月	2625円	忍者の道具や武器、忍術をはじめ、忍者の歴史を紹介
ビジュアル忍者図鑑 2 忍者の仕事	黒井宏光	伊賀流忍者集団・黒党代表	ベースボール・マガジン社	978-4583103907	2011年8月	2625円	忍者服や食べ物、忍者屋敷の仕掛、全国の忍者を紹介
ビジュアル忍者図鑑 3 忍者の仕事	黒井宏光	伊賀流忍者集団・黒党代表	ベースボール・マガジン社	978-4583103914	2011年10月	2625円	山や城下での忍者修行や、どんな修行をしていたかを紹介
〈甲賀忍者〉の実像	藤田 和敏	相国寺史編纂室研究員	吉川弘文館	978-4642057356	2011年12月	1700円	甲賀忍者の本格的な研究書
忍者に学ぶ心・技・体 正伝 忍者塾〈上巻〉	黒井宏光	伊賀流忍者集団・黒党代表	鈴木出版	978-4790232476	2011年12月	2800円	子ども向けの忍者の教科書
忍者に学ぶ心・技・体 正伝 忍者塾〈下巻〉	黒井宏光	伊賀流忍者集団・黒党代表	鈴木出版	978-4790232483	2011年12月	2800円	子ども向けの忍者の教科書
新萬川集海 巻ノ一	池田裕他3	伊賀忍者研究会	自費出版	-	2012年1月	500円	本物の忍者資料と伊賀の忍者関連の地の写真で説明する小学校6年生から読める、忍者の教科書
イラスト図解 忍者	川上仁一	三重大学社会連携特任教授	日東書院本社	978-4528019362	2012年12月	1365円	イラスト図解 忍者—起源から忍術・武器についての忍術書
歴史の愉しみ方	磯田道史	静岡文化芸術大学准教授	中公新書	978-4121021892	2013年10月	750円	忍者に関する古文書調査におけるエッセイ、その他
忍術・がいど	清水 帛三					680円	
忍術とは	藤田 西湖		東京講演会出版部				
忍者の精神	藤田 西湖						
忍者五道	監修:黒井 宏光					500円	
忍術は生きている	藤田 西湖						
正忍記	藤一水子 正武					20000円	
甲賀流忍術屋敷正伝			甲賀流忍術屋敷			400円	
忍秘伝						10000円	

忍者・忍術研究雑誌（内容が忍術のみの雑誌）

雑誌名・号	出版社	出版年月	価格	備考・内容
歴史グラフィティ 忍者	主婦と生活社	1993年10月	1529円	
歴史と旅 特集 忍者影の戦闘軍団	秋田書店	1983年		
忍者と忍術 闇に潜んだ異能者の虚と実	学習研究所	2003年10月	1500円	歴史群像シリーズ71
【決定版】図説・忍者と忍術	学習研究所	2007年8月	1900円	歴史群像シリーズ特別編集
歴史人 保存版特集 忍者の謎と秘史	ベストセラーズ	2011年8月	648円	

歴史読本

名将の影武者	人物往来社	1962年2月		歴読臨時増刊
忍びに生きる	人物往来社	1963年4月		月刊歴史読本
忍者——戦国の幻兵团	人物往来社	1964年8月	150円	月刊歴史読本
戦国陰の一族	新人物往来社	1979年3月	500円	月刊歴史読本
服部半蔵と徳川隠密組織	新人物往来社	1980年4月	580円	月刊歴史読本
江戸忍法・影の軍団	新人物往来社	1982年7月	580円	月刊歴史読本
謀略！戦国合戦陰の一族	新人物往来社	1982年7月	1000円	別冊歴史読本
決定版「忍者」のすべて	新人物往来社	1991年12月	1456円	歴読読本臨時増刊
徳川隠密組織と御庭番	新人物往来社	1995年7月		別冊歴史読本臨時増刊
忍の達人	新人物往来社	1995年8月	1165円	歴読スペシャル51
戦国風雲 忍びの里	新人物往来社	1999年11月	2100円	別冊歴史読本
忍びの者132人データファイル	新人物往来社	2001年4月	1600円	別冊歴史読本
伊賀・甲賀 忍びのすべて	新人物往来社	2002年9月	2000円	別冊歴史読本
忍びの戦国誌	新人物往来社	2004年8月	1038円	月刊歴史読本
伊賀・甲賀 忍びの謎	新人物往来社	2005年3月	2000円	別冊歴史読本

忍者・忍術関連本（忍術研究を含む本）

書名	著者	出版社	出版年月	有	備考
日本武道大系 第五巻	文：奥瀬平七郎	同朋舎出版	1982年	×	「忍術」の項あり。萬川集海の書き下しもある※
日本武道大系 第九巻	文：奥瀬平七郎	同朋舎出版	1982年	×	「武道随筆」中に正忍記の書き下しあり
日本武道全集 第四巻	東京教育大学体育史研究室・日本古武道振興会	人物往来社	1966年	×	砲術・水術・忍術

忍者・忍術関連雑誌（忍術研究を含む雑誌）

書名	出版社	出版年月	価格	備考
日本伝承武芸流派 読本	新人物往来社	1994年3月	1845円	別冊歴史読本
歴史手帖 第3巻第11号	名著出版	1975年	200円	
週刊 少年キング 12号	少年画報社	1964年3月	40円	甲賀流忍術特集号
江戸と東京 昭和11年12月号	江戸と東京社	1936年12月	15銭	「江戸時代忍術者の盛衰」等
NHK 歴史への招待 14	日本放送出版協会	1981年	1300円	「真説・忍びの者」
激闘！戦国「異能」部隊	新人物往来社	1999年12月	943円	月刊歴史読本

闘将 楠木正成	新人物往来社	1999年4月		月歴「楠木正成と忍術秘伝 書」
週刊少年マガジン 3月10日号	講談社	1963年3月	40円	「高等忍術早分かり」
NHK 歴史への招待 30	日本放送出版協会	1984年	1300円	「追跡！戦国甲賀忍者軍団」
歴史街道 8月号	PHP研究所	2006年8月	600円	「戦国忍者列伝」
歴史手帖 第10巻第2号	名著出版	1982年	580円	甲賀流忍術と郷土史
日本の秘術	人物往来社	1960年7月		月刊歴史読本
隠密の秘史・日本に躍る謀略戦	人物往来社	1960年10月		「忍者の歩兵操典「正忍記」の 項有り。月刊歴史読本
歴史研究 第484号 2001年9月号	歴研	2001年9月		特集「忍者の謎」
新説 戦乱の日本史16	小学館	2007年5月	580円	新説伊賀忍者影の戦い(伊賀 越え)
伊賀暮らしの文化探検隊レポート	伊賀びとのおもい実現委 員会	1999年3月～年 刊	500円	Vol.2以降伊賀忍者に関するレ ポートを掲載

出版社

価格2000円

歴史読本 特集忍びの戦国誌	新人物往来社	2004年8月	出版社			価格2000円
カテゴリー	タイトル	見出し	筆者	肩書き		
忍者史総論	忍びの戦国誌	緒言	池田裕	忍者研究家	総論、忍者研究	
伊賀者	伊賀忍者篇	忍者が描く闇の戦国史	池田裕	忍者研究家	十一人の隠忍の上手、上忍、鉤の陣、六角氏、伊賀忍者の発祥、伊賀惣国一揆、天正伊賀の乱、伊賀惣国一揆の終焉	
甲賀者	甲賀忍者篇	忍者が描く闇の戦国史	渡辺俊経	甲賀忍術研究会会長	甲賀忍者発祥、信長と甲賀、秀吉と甲賀、家康と甲賀、生き残り、甲賀忍者の疑	
風魔	相模北条忍者篇	忍者が描く闇の戦国史	山岡哲也	伊賀忍者研究会員	兵とは詭道、風魔忍者、小太郎、風魔の合戦、風魔忍者の終焉、忍者の虚と実	
戸隠	信濃戸隠忍者篇	忍者が描く闇の戦国史	初見良昭	戸隠流宋家	戸隠流忍法の創始伝説、戸隠流宋家の継承、戸隠流忍法と他流派との違い、外国人が学ぶ実践的武道、戸隠流忍者の哲学	
根来	紀伊根来衆篇	忍者が描く闇の戦国史	辻直樹	忍者研究家	武装化する寺院、根来杉之坊と鉄砲、根来寺炎上、根来衆の末裔	
鉢屋	出雲鉢屋衆篇	忍者が描く闇の戦国史	辻直樹	忍者研究家	鉢屋由来、月山富田城、鬼、	
忍者分布図	全国その他の忍者篇	忍者が描く闇の戦国史	黒井光宏	伊賀流忍者集団・黒党主宰	羽黒流、黒脛巾組、早道の者、小隼人組、中川流、甲賀町口門跡、上杉流、加治流、越後流、軒猿、甲陽流、武田流、忍甲流、スツバ、真田流、トツパ、八門遁甲術、神傳矢車之法、飯縄之法、福智流、松元流、越前流、偷組、三島党、美濃流、芥川流、秋葉流、一全流、義経流、備前流、福島流、引光流、黒田流、南蛮流、楠木流、神楠流、名取流、紀州流、桑田党、波多野流	
忍術流分布図	全国忍術流派小辞典	特別企画	中島篤巳	作家、片山伯耆流柔術宋家	愛洲影流、会津藩伝楠流、青木流、秋葉流、芥川流、伊賀崎流、伊賀流、一全流、一左流、伊東流、内川流、内山流、越後流、越前流、御家流、大井流、大江流、応彦流、甲斐流、加治伝越後流、上川流、蒲生流、可陽流、河内流、鬼一法眼流、紀州流、九州流、玉虎流、楠流、鞍馬忍流、鞍馬揚心流、黒田流、源家古法、上泉流、甲賀流、甲賀流和田派、高山流、甲州新流、甲州別伝流、甲州本源流、甲州本伝流、甲州流、上月流、合武三島流、甲陽軍艦流、甲陽流、御当流、小隼人流、雑賀流、西法院武安流、真田流、三刀流、止心流、真陰流、新陰流、新楠流、曾我流、高木流、戸隠流、頓宮流、南木流、忍光流、根来電光流、根来流、野間流、白雲流、羽黒流、服部流、備前流、福島流、藤林流、扶桑流、北条流、北条流無楽派、ほうろく流、本覚克己流、松元流、三雲流、宮川流、名映流、無極量情流、明心流、百々地流、森川理極流、森流、山形流、浅井治部左衛門、音羽ノ城戸、果心居士、加藤段蔵、熊若、向坂基内、石宗、杉原盛重、服部半蔵保長、馬場馬水、風魔小太郎、藤林長門、望月出雲守、望月千代女、山田八右衛門、	
忍者名	戦国忍者列伝 エキスパート篇	戦国忍者の履歴書①	川口素生	歴史研究家	小幡景憲、黒田如水、藤堂高虎、原田直政、水野勝成、山本勘介	
忍者名	戦国忍者列伝 忍将篇	戦国忍者の履歴書①	川口素生	歴史研究家	滝川一益、杉谷善住坊、百地丹波	
天下人と忍者	信長篇	戦国忍者の履歴書②	桐野作人	作家	蜂須賀正勝、石川五右衛門、仙石権兵衛、山中山城守長俊	
	秀吉篇	戦国忍者の履歴書②	桐野作人	作家	服部半蔵正成、多羅尾光俊、山岡道阿弥	
	家康篇	戦国忍者の履歴書②	桐野作人	作家	伊賀の国の城館跡、土豪の成立、城館の規模と形式、忍者の城館、藤林長門守城、百地丹波守城、千賀地氏城、藤堂藩伊賀者と城館、阿波氏館、阿波氏詰城、貝野氏館、木津氏館、滝氏城、長井氏城、竹島氏館、重福氏館、小鴨氏館、澤村氏館、植田氏城、井岡瀬之助城、久保田氏城	
中世城館	忍者と中世城館	忍者研究最前線	福井健二	伊賀中世城館調査会会長	尾張藩、甲賀者、甲南町、清寿院、木村奥之助、お亀の方	
甲賀者	尾張藩と忍びの者	忍者研究最前線	鬼頭勝之	愛知県立熱田高等学校教諭	杉谷善住坊、信長狙撃、杉谷村、甲賀張、甲賀鉄砲、織田信長、善住坊の野心、狙撃の動機、信長暗殺計画	
甲賀者	杉谷善住坊の実像	忍者研究最前線	辻邦夫	甲賀忍術研究会会員	萬川集海、忍歌、伊勢三郎義盛忍百首、義盛百首の文芸性、軍法侍用集、忍者	
忍歌	忍術伝書・忍歌の世界	忍者研究最前線	土井大介	慶應義塾普通部教諭	忍術の起源、名和弓雄、忍術の科学、火縄式鉄砲、煙管鉄砲	
鉄砲	忍術と火器	忍者研究最前線	澤田平	堺鉄砲研究会主宰	方言の歴史、隠密による方言記述、探箱録、奪口術、忍者の変装、探索と方言の利用、萬川集海、正忍記、よしの冊子、河陽兵庫之記、近世武家言葉の研究	
方言	忍者・隠密の方言意識	忍者研究最前線	諸星美智直	國學院大學教授	霊術界の著名人、霊術の誕生、霊術パフォーマンス、最後の忍者、藤田西湖、甲賀忍者十四世、忍術からスパイ戦へ	
霊術	忍術と霊術	忍者研究最前線	田中聡	フリーライター	忍術の母胎、散学の雑伎、小田原記、北条五代記、芸能忍者の祖、秦氏、猿楽、諸芸能民	
忍者起源	忍者源流考	忍者研究最前線	藤巻一保	作家		

本形態	題名	出版社	出版年月	編集人	価格
別冊歴史読本	「戦国風雲忍びの里」	新人物往来社	1999.10	宮崎美友	2000円
大カテゴリー	中カテゴリー	タイトル	見出し	筆者	頁数
伊賀の里	伊賀者	伊賀忍びのふるさと	写真	編集部	タグ 戸隠奥社への参道、戸隠村、甲賀の里、岩井観音堂岩窟、真田町、延木左馬充城跡、名張市黒田、黒田の悪党、大江氏末裔、伊賀土家の居館、服部館跡、高島、伊賀上野城、平楽寺、竹島氏館跡、大ノ木、竹島与左衛門、比自山、田矢伊予守城跡、川合、福地城跡、柘植町、沢村氏館跡、川東、木津越前城跡、玉瀧、丸山城、下神戸、天正伊賀の乱、比奈知城跡、下比奈知、耳須城跡、玉瀧、雨請山、下友田、平井神社、小田町、比自山遠望、比自山城跡、長田、伊賀上野盆地、名張市中央公園、柏野城跡、柏野、大井伊豆介守の墓、桶岡、一ノ宮城跡、一ノ宮、敢国神社、柏原城跡、高善山、短野城跡遠望、短野、桜町中将城跡、下小波田、滝野吉政一族墓碑、伊賀流忍者博物館、丸之内、
	忍者史総論	忍びの発祥と陰の流れ	闇に生きた忍びの者たちの流転の系譜	中島篤美	作家 古流忍術、盗賊、悪党の時代、正忍記、日本書紀、荘園、伊賀の状勢、杉谷神社、敢国神社、職能組織、正月堂、観音提寺、黒田庄、異類異形、忍び、楠木正成、サンカ、ウメガイ、散所、古流忍術の形成、小波田、福田神社、近世の忍術、上赤坂城跡、千早赤阪村、忍びと職業、山伏修験、虚無僧、出家、商人、放下師、猿楽師、常の形、飯道山、役小角、呪符、傀儡子、放下、曲芸、品玉
伊賀忍び衆	忍者史総論	忍術の諸流と秘伝書	各地に伝承された忍者組織と門外不出の「虎の巻」	柚木俊一郎	甲賀の里忍術村長 忍術の発祥、忍術の系譜、発祥から発展期、室町、日本発祥説、中国伝来説、三国伝来説、全盛期、戦国時代、荘園、伊賀の状勢、杉谷神社、敢国神社、職能組織、正月堂、観音提寺、黒田庄、異類異形、忍び、楠木正成、サンカ、ウメガイ、散所、古流忍術の形成、小波田、福田神社、近世の忍術、上赤坂城跡、千早赤阪村、忍びと職業、山伏修験、虚無僧、出家、商人、放下師、猿楽師、常の形、飯道山、役小角、呪符、傀儡子、放下、曲芸、品玉
	伊賀忍び衆	伊賀の里	写真	編集部	赤目四十八滝、百地丹波城跡、百地砦、百地屋敷、百地砦跡、服部半蔵誕生の碑、千賀地城跡、花垣神社、伊賀乱供養塔、藤林長門守の墓、手力神社、
	神君伊賀越え	神君伊賀越えルートを往く	家康生涯最大の危機	編集部	伊賀最大の難所、鹿伏兎越え、生涯最大の危機、幕延寺、大阪府枚方市、普賢寺、京都府田辺市、長谷川秀一、永昌寺、穴山梅雪、豊泉寺、大道寺、京都府宇治田原、草内の渡し、京都府田辺市、穴山梅雪墓、京都府飯岡、穴山梅雪の最期、小川城跡、滋賀県信楽町、御斎峠、徳永寺、葵紋、福地城、柘植、家康一行、背後の山、鹿伏兎越え山並、謎の逃走ルート、鹿伏兎越え旧道の地蔵、伊賀街道、関町、家康走破、西の追分、瑞光寺、権現柿、関町の町並、地藏院、白子浜、
	天正伊賀の乱	織田信長の伊賀殲滅戦	信長自ら出馬した侵攻作戦で、伊賀の地は焦土と化した。地元の記録『伊賀乱記』に描かれた伊賀土家たちの果敢な抵抗とは…	石川正知	滋賀県地方史研究会会長 はじめに、日本城郭体系、三重県中世城館、1070、514、北伊賀、413、板蠅袖、黒田袖、玉瀧袖、荘園の研究、中村直勝、東大寺文書、12000通、85%、黒田の悪党、伊賀惣国一揆、永禄3年(1560)、蔭涼軒日記、伊賀に残る記録、伊賀乱記、菊岡如元、寛永2年(1615)、茅栗草子、伊賀忍者考、校正伊賀乱記、百地織之介、参考伊賀乱記、伊陽平定志、安政4年(1857)、信長の伊賀攻略、北畠具教、二男、茶丸丸、信雄、天正6年(1578)、天正7年(1579)、十一人、評定衆、百田藤兵衛、福喜多将監、柘植三郎左衛門、信長公記、天正9年(1581)、9月3日、甲賀口、甲賀衆、滝川左近、蒲生忠三郎、三念信雄、信楽口、堀久太郎、加太口、滝川三郎兵衛、伊賀茶、織田上野守信業、大和口、筒井順慶、同国衆、心変替衆引入、比自山城攻防戦、福地伊予守、耳須跡次郎、伊勢口、信雄、信澄、1万余騎、柘植口、丹羽長秀、滝川一益、1万2千騎、玉瀧口、蒲生氏郷、脇坂安治、7千余騎、笠間口、筒井順慶、3700騎、初瀬口、浅野長政、7千余騎、多羅尾口、堀秀政、多羅尾弘光、2300騎、4万を超える大軍、1万を超える、四倍、北畠信雄、本陣、伊賀最期、柏原城、伊賀武士、438人、雑兵、1700余人、9月18日、2週間
	藤堂采女	伊賀の忍び家老 藤堂采女	藤堂高虎が取り立てた伊賀上野城代	横山高治	作家 伊賀地侍の末裔、藤堂采女家の故郷、服部半蔵と忍びの国、藤堂高虎、伊賀支配、慶長13年(1608)、伊賀者差出帳、采女元則、采女家由緒書、保田采女、城代家老、西蓮寺、名張藩独立
	服部一族	服部半蔵家のその後	影の軍団長の栄光と没落	早川純夫	作家 服部半蔵奉納、仁王像、練馬区、御獄神社、鬼半蔵正成、寛政重修諸家譜、半三保長、万松院、足利義晴、鬼半三生涯、天文11年(1542)、家康と同年生まれ、改正三河後風土記、鶴殿城跡、愛知県蒲郡市、宇土城、七寸八分、槍半三、渡辺半蔵守綱、徳川殿は人持ちよ、鬼の忘れ形見、正就、正重、正就改易、長善寺、新宿区、久松定勝、正重の去就、桑名藩主、松平定綱、顕本寺、教徒所司代、松平定敬、服部・吉村家の幕末、服部正蔵、十念寺、桑名市、鳥羽・伏見の戦い、
	松尾芭蕉	松尾芭蕉と伊賀の風土	最高の頭脳忍者のルーツ	岸 宏子	作家 奥の細道、金づる、武区譜、俳聖、頭脳忍者、芭蕉忍者説、元禄2年(1689)、150日、600里、一日20里、おくの細道忍旅、藤堂新七郎、良忠、北村季吟、旅の費用、京籠門、向井去来、江戸籠門、榎本其角、服部嵐雪、服部半蔵正成、天文11年(1542)、家康同年生まれ、55才、正成死去、雪が降ると伊賀が泣く、保田采女元則、備中国銅山事件、名張藤堂家独立事件、百姓大一揆、鳥羽伏見の戦い、裏切り、伊賀ひとと気質、伊賀のひとはこわいからなあー、名張女に油断するな、養虫庵、服部土方、松尾家菩提寺、万寿寺、百人番所跡、江戸城三の丸、日光東照宮、養源院跡、深川芭蕉庵、北村季吟の寓居跡、芭蕉と曾良
	伊賀者		黒船に忍び込んだ藤堂藩隠密	池田裕	忍者研究家
	服部一族		天下人に仕えた先見の明	辻直樹	忍者研究家
甲賀の里	甲賀者	甲賀忍びの夢の跡	写真	編集部	隠れりの景観、足利義尚、鈎の陣、篠山城跡、甲賀町鳥居野、篠山理兵衛、伏見籠城、多聞寺、大鳥神社、大原家の氏神、大原数馬家、甲賀町田堵野、萬川集海、滝川城跡、甲賀町樺野、滝一族の墓、称名寺、杉谷屋敷跡、六角丞禎、杉谷善住坊、望月家、滝氏、甲賀町滝、公方屋敷跡、和田惟政、多羅尾代官屋敷跡、佐治城跡、処刑場、御斎峠、甲賀流忍術屋敷、甲賀五十三家、元津ギヤ式、甲南町庵法師、隠梯子、中二階、近江製剤株式会社、東雲舎、隠階段、下磯尾、万金丹、東雲舎文書、甲賀の里忍者村、水蜘蛛池、甲賀藤林家、飯道山、修験道、役行者、行者堂、飯道寺跡、行場、東ののぞき、岩尾山、霊山、紅顔南部、471m、行く春を近江の人とおしみけり、芭蕉の句、最澄、息陣寺、油日岳、鈴鹿山系、694m、油日神社、
	甲賀者	將軍足利義尚襲撃！”鈎の陣”	奇襲とゲリラ戦法「霞の陣」	羽生道央	作家 佐々木同族の争い、応仁元年(1467)、応仁の乱、京極氏、六角氏、文明5年(1473)、山名宗全、細川勝元、義尚の近江出征、長享元年(1487)、9代将軍足利義尚、地藏院、23才、観音寺城、滋賀県安土町、大手道の石段、安養寺、栗東町、細川政元、龍安寺、六角高頼、八幡山、將軍御所、三雲城跡、滋賀県甲西町、落ち延びた、六角氏と甲賀武士、応仁後記、山賊、望月、山中、和田、甲賀武士の逆襲、六角義賢、丞禎、

甲賀者	六角氏が操る影の軍団	信長狙撃犯・杉谷善住坊と甲賀武士団	池内昭一	歴史家	近江甲賀の武士団、同名中惣、北山九家、柏木三家、甲賀武士の中に育った忍び、飯道山行者堂、山陰は山伏村の一かまえ、芭蕉、朝熊明王院、札、甲賀流忍術屋敷、荘内三家、南山六家、南山六家、山中、伴、美濃部、鶴飼、服部、内貫、大原、和田、上野、高峯、多喜、池田、黒川、頓宮、大野、大河原、岩室、佐治、神保、隠岐、芥川、避難先効果、磯尾、六角氏と甲賀武士団、永禄11年(1568)、元亀元年(1570)、野洲kわらの合戦、天正2年(1574)、信長襲撃、杉谷善住坊、鈴鹿山越え、千早越え、七日間竹鉦で首を斬られる。諸大名に仕える、永禄3年(1560)、桶狭間の戦い、天正12年(1583)、小牧・長久手の戦い、天正13年(1584)、紀州雑賀攻め、佐治城跡、甲賀町、六角丞禎の墓、京田辺市、酬恩寺、一休寺、杉谷屋敷跡、甲南町、篠山組十人の墓、甲賀町、多聞寺	
甲賀者	島原の乱と甲賀衆	原城潜入命令	岩井 護	作家	原城本丸跡、長崎県南有馬町、一揆勢の徹底抗戦、島原半島、寛永14年(1637)、田中宗甫、天草四郎時貞、板倉重昌、松平信綱、天草四郎像、島原の乱図屏風、秋月郷土館、板倉重昌の碑、甲賀忍者の活躍、37000人、天草四郎の墓、殉教戦千人塚、本渡市、	
伊賀者	黒船を探索した最後の忍者	沢村基三郎の隠密御用	栗原隆一	作家	沢村家ルーツ、沢村基三郎保祐、扶持米、15石、沢村三九郎、寛永13年(1636)、伊賀付差出帳、嘉永6年(1853)、浦賀湾、ペリー再来、沢村家文書、藤堂高猷、参勤交代、タバコ、パン、ロウソク、戯れ言、髪二篇、久里浜陣営の図、林大学、ポーハタン号、サスケハナ号、ミンシッピー号、蒸気艦、	
戸隠の里	戸隠者	修験が生んだ戸隠流忍法の舞台	写真	編集部	戸隠神社、戸隠山秋景色、小島ヶ池、修験社、行場、宝光社、二ノ鳥居、奥社、中社、参道、天手力雄命、山岳信仰、妙高山、黒姫山、飯綱山、白根山、木曾義仲、仁科大助、初見良昭、戸隠資料館、戸隠忍法流資料館、からくり屋敷、大座法師、そば畑、夏そば、秋そば、長野県上水内郡、戸隠村役場観光課	
根来の里	根来者	滅び去った雑兵軍団の敵地	写真	編集部	根来寺、聖典堂、聖典池、増兵、真言宗、寺領72万石、武装化、種子島銃、寛政上人、円明寺、三文、雑賀党、傭兵、根本大塔、大師堂、紀州征伐、天正13年(1585)、千石堀城、愛染院、戸平、行者堂、鳥羽上坐、綿依、菩提、蓮華院、	
真田の里	真田者	猿飛佐助や霧隠才蔵を生んだ山里	写真	編集部	真田氏本城跡、東太郎山、白山信仰、四阿岳、あずまやさん、2354m、菅平高原、山家神社、長野県小県郡真田町、山伏、真田昌幸、長谷寺、信綱寺、奥宮、里宮、猿飛佐助、角間溪谷、長谷寺林道、岩井観音堂、岩屋観音洞窟、行場、真田町役場観光課、上田市、	
全国忍者	戦国忍びの群像	戦国時代に生まれた各地の忍び集団とは何か	杉田幸三	作家	忍術とは何か、白煙もうろ、口に巻物、九字の印、妖術使い、謀報、流言、変装、潜入、放火、暗殺、戸部新十郎、忍術の源を追求する、歴史と人物、昭和54年(1979)、広文庫、嬉遊笑覧、鉢屋一党、浅井了意、伽伽婢子、上杉信玄、加藤段蔵、鉢屋彌ノ三郎、尼子経久、富田月山城奪回、文明13年(1485)、万歳、上杉の担猿、軒猿、越中富山の薬売り、武田信玄、上杉謙信、永禄3年(1560)、武田忍者、甲陽軍艦、品22、足長坊主、浅間神社、倭訓抄、松屋筆記、望月千代女、望月盛時、信州小県郡弥津村、長野県東部町、歩き巫女、鶴飼孫六、戸田三郎四郎、伴与七郎、改正三河風土記、雑賀忍者、紀州雑賀崎、鈴木孫市重朝、鉄砲集団、石山本願寺の信者、元亀元年(1570)、北条忍者、北条早雲、風魔小太郎、ケリウ戦法、武田勝頼、天正9年(1581)、黄瀬川合戦、うらめしや風魔の忍びラッパの夜討、身の丈、7尺2寸、牙四つ、鼻高く、髭面、甲賀忍者、山岡道阿弥、甲賀流の起こり、五十三家、杉谷善住坊、棕の木峠、信長狙撃、竹鉦で引かれる、桶岡道順、狙撃、魚住源吾、上方、83号、天正6年(1578)、別所長治、多羅尾光俊、家康伊賀越え、伊賀の乱、山岡景友、篠山理兵衛、篠山監物、伊賀忍者、伊勢口、北島信雄、栲植口、丹羽長秀、玉滝口、蒲生氏郷、笠間口、筒井順慶、長谷口、浅野長政、多羅尾口、堀秀政、伊賀人口、九万人、伊賀のものはけ物よ一人として生かすべからず、脇坂安治、忍術25流、2流、奥瀬平八郎、百地丹波、上忍、藤林長門守、桶岡道順、伊賀崎道順、六角丞禎、百々氏、佐和山城、服部半蔵正成、徳川実紀、御生涯難難の第一、岡崎八幡宮、与力30、伊賀同心200人、石川五右衛門、日本武道全集、第4巻、中忍11人、百地三太夫の弟子、石川や浜の真砂はつきるとも、世に盗人の種はつきまじ、真田の猿飛と霧隠、真田十勇士、甲賀流達人、伊賀流忍術名人、柳生一族、柳生石舟斎、宗矩、將軍家剣道指南やkじゆ、柳生スバイ、兵法の舵をとりても世の海を、渡りかねたる石の舟かな、無刀取り、柳生の里、前代利家、伊賀者50人採用、柳生十兵衛三藏、月の抄、裏柳生、隠密、柳生十兵衛、	
戦国忍び衆	三ツ者と担猿	信玄の三ツ者vs謙信の担猿忍び合戦	甲斐の武田、越後の上杉の忍びがいつせいに動き出した。激突は間近だ！！	淡野史良	作家	信玄、謙信、永禄、加藤段蔵、幻術、飛び加藤、信玄の三ツ者、謙信の担猿、信虎、透波、板垣信方、飯富虎昌、甘利虎泰、天文17年(1548)、北越軍談、妻女山籠、川中島の戦い、天文12年(1553)、信玄の狼煙ネットワーク、啄木鳥戦法、同盟によって獲た忍び情報、信玄病死、天正元年(1573)、3年の間、わしの死にたるを隠して国を治めよ、
	真田者	真田忍び合戦	共に昌幸に仕えた玄蕃と下総。上州の忍びは鏑を削って競いあう	清水 昇	作家	武田信玄、乱波、素破、1千人、真田幸隆、真田昌幸、岩櫃城、群馬県吾妻町、嵩山城、中之条町、出浦対馬守守清、加沢記、吾妻記、真田忍者、角田新右衛門、唐沢玄蕃、割田新兵衛、忍者八右衛門、田村角内、割田下総守重勝、持喜右衛門、田村左次右衛門清隆、恩賞、永禄6年(1563)、忍びは恩賞によって働く、忍者の達人、中山城、高山村、火薬、金の馬鎧、唐沢玄蕃の墓、割田下総の墓、吾妻七騎の一人、忍びの達人、武芸兵法に優れ、忍びの演技、松田尾張守、真田忍者と中之条町、中之条町教育委員会、
江戸の隠密組織	徳川幕府の隠密	徳川幕府の隠密組織	大目付・巡見使、隠し目付、御庭番	宮城賢秀	作家	大目付、三千石高、千石高、一万石以上、大名、一万石未満、旗本、御家人、軍人独裁政權、監察、糾弾、旗本三人一組、24人、巡見使、全国八地域、五畿内筋、東海筋、関東筋、奥州筋、北国筋、中国筋、四国筋、九州筋、国目付、使番、両番、黒敷者、12儀1扶持、470人、隠し目付、隠密、間宮林蔵、文政5年(1822)、勘定奉行配下、普請役、房総御備掛手付、御庭番、八代將軍吉宗、將軍独自のスパイ、紀州藩士、205人、小笠原肥前守胤次、加納遠江守久通、有馬兵庫守士倫、御側御用取次、江戸大奥、17人、葉込役、情報機関要員、大奥勤務の男性、広敷、広敷用人、500石、広敷番頭、200石、両番格庭番、小十人格庭番、広敷添番庭番、広敷添番並庭番、伊賀庭番、勘定奉行、幕府三奉行、寺社奉行、町奉行、村田忠光、鉄砲に弾薬を装填する、村垣芳光、広敷用達、村垣軌文、村垣淡路守定行、村垣軌之、相談役、尊号事件、松平定信、失脚、光格天皇、松前藩、プロビデンス号、梶野秀名、和多田直道、東蝦夷地、高橋松三郎、対馬調査、破格の出世、村垣淡路守範正、御園御用、大坂、甲斐国、東国、北国、東海通筋、出羽国、越後国、常陸国、日光、上方筋、倉地国長、川村説橋、和多田金七郎、馬場滝三郎、野尻哲作、明楽茂正、細工所、鋳物師、蒔絵師、秤師、外国奉行、神奈川奉行、欧米使節副使、アメリカ、フリゲート艦、ポーハタン号、新見豊前守正興、服部逸郎、77人の侍アメリカへ行く、講談社文庫、小栗豊後守忠順、初代新潟奉行、川村対馬守修就、深井雅海、江戸城御庭番、中公新書、
江戸の隠密組織	柳生一族	幕府のCIA柳生一族	大目付宗矩の野望	渡辺 誠	作家	將軍家の兵法師範、柳生の剣、天下の兵法、島原の乱、柳生宗矩、一万石、大目付、惣目付、寛永13年(1636)、板倉重昌、徳川家光、奈良市柳生、芳徳寺、宗矩像、柳生家墓所、広徳寺、東京、松平信綱、戸田氏鏡、沢庵の手紙、徳川実紀、勝海舟、水川清話、大目付の人脈、CIA、鍋島元茂、鍋島直能、岡山神社、佐賀県小城町、新影流兵法、弟子、門流の情報網、柳生十兵衛、熊本藩、細川忠利、梅原九兵衛、尾張柳生、紀伊、木村助九郎、伊勢・津藩、柳生源太夫、金沢藩、笠間又兵衛、会津藩、小瀬源内、仙台藩、狭川新三郎、土佐藩、小栗仁右衛門、柳生一族隠密説、独眼、隠密剣士、石舟斎宗敵、伊賀に近い、伊賀者を掌握、柳生一族の古里、奈良市野殿、家康に寵愛、

江戸の隠密組織	目付	大名の探索書『土芥寇鑑記』	234名の大名身辺調査報告書	村磯栄俊	智山伝 法院教授	五代將軍、綱吉、金井國、人物往来社、江戸資料叢書、將軍家の家伝、元禄3年(1690)、大名243名、家系、略歴、居城、人柄、編者の批評、全43冊、東大資料編纂所、非掲載、牧野成貞、松平信興、内藤重頼、稲垣重定、甲賀者子孫に伝来、四国・九州の探索書、順察使、將軍の側近、深井雅海、徳川將軍政治権力の研究、中根正盛、20人余の国目付、十八家世襲、牧野成貞最高権力、稲垣重定協力、元禄初年、大名資料、
尾張の隠密組織	徳川幕府の隠密	尾張藩 徳川家の忍び、御土居下御側組同心	藩一大事の際、藩主を脱出させるため、	大野一英	作家	尾張藩、名古屋城落城、御土居下、久道家、馬場家、大海家、従事付け、巨体、怪力の持ち主、森島家、水泳、潜水術、忍術、入江家、加藤家、石黒家、岡本家、山本家、広田家、忍術、潜水の達人、諏訪家、市野家、牧野家、松永家、豊島家、安藤家、伊藤家、稲垣家、丸秘任務、一人一芸、十八人の精鋭、木曾衆、御土居下屋敷の凶、名古屋城二之丸、脱出ルート、尾張藩四代藩主、吉道、円覚院様御伝十五ヶ条、尾張の便利、美濃より木曾へとりつづける、金城温故録、
彦根藩の忍び	彦根藩の忍び	彦根藩井伊家の忍び「伊賀徒行」	徳川四天王の一人であったがゆえに、忍びの役割は幕末、幕政の内部にも及んだ	中島篤実	作家	彦根藩、家康、鷹狩、裏の目的、巡視、戦闘訓練、新井白石、「藩翰譜」、井伊直政、神君伊賀越え、22才、4万石、幕府と井伊家、四天王、直政肖像画、彦根城博物館、2代目、井伊直孝、2代目、井伊直孝、14代直中、15代直弼、伊賀徒行、伊賀出身、伊賀町、下級武士、40俵3人扶持、井伊家資料、寛政7年(1795)、近江を制する者は京を制す、井伊直弼の謀略機関、300俵、埋木舎、文人、茶道、国学、長野主膳義言、幕末風紋探索書、京都御留守居、京都守護の家格、たか女、村山たか女、村山可寿江、金福寺、京都、たか女は、井伊直弼の恋人、舟橋聖一、「花の生涯」
仙台藩の忍び	仙台藩の忍び	仙台藩伊達家の忍び「黒脛巾組」	仙台藩には正宗が組織した足に黒い脚絆を巻いた忍びの団がいた	逸見英夫	仙台郷土研究会副会長	仙台藩、伊達家、伊達政宗、天正12年(1584)、奥州探題、米沢城主、山形県、二本松城主、福島県、畠山善継、大町宮内、太宰金七、伊達秘鑑、大内定綱、練々老人伝聞記、京都、東福寺像、伊達政宗絵図、人取橋の戦い、福島県本宮町、仙台市博物館、伊達政宗の父、伊達輝宗、粟の須古戦場、輝宗首塚、福島市、慈徳寺、仙台、齋藤報恩会、黒の皮脚絆、悪党忍者の探索と逮捕、伊達重茂実、正宗記、巻四、草調儀の事、草、柴田町史、窃盗ノ者、残月台本荒萩、芭蕉ヲ密使間諜ニ用ヒ、芭蕉辻名称、奥羽志料、仙台封内記、虚空山布袋軒、虚無僧、尺八、探索方、
特別企画	戦国忍者ものしり帳	戦国忍者の武器・武器		名和弓雄	時代考証家	鉤縄、麻の細縄、三尺手拭、1m、蘇芳染め、打竹、火種、編笠、石筆、筆記具、薬品、200種、害虫防ぐ、外傷薬、気つけ薬、眠り薬、毒薬、解毒剤、発煙剤、忍び六具、忍び刀、火縄鉄砲、宝祿火矢、手榴弾、煙玉、百雷銃、百雷銃退き、爆竹、火矢、松明、他種類、義経火、水銀使用、苦無、壊器、坪錐、鍵錐、しころ、のこぎり、忍び鎌、釘抜き、鎖子抜き、掛け金抜き、開器、といかき、刃くり、のべかぎ、いれこかぎ、折りたたみのみ、登器、梯子類、結び梯子、飛梯子、雲梯子、巻梯子、縄梯子、鉤梯子、飛行、忍び刀登り、槍登り、龍登、蜘蛛梯子、高梯子、せつとう杖、忍び熊手、水器、浮き橋、がま筏、かめ筏、つづら筏、水蜘蛛、水掻、他流水蜘蛛、はさみ箱舟、吸筒、水筒、小音聞金、音著、撒き麦、かすがい、忍者食、忍び槍、手裏剣、針状、平板状、火器、250種
特別企画	戦国忍者ものしり帳	戦国忍者の組織と掟		名和弓雄	時代考証家	甲賀では忍、伊賀では連判、秘密結社、血縁的結合、柚木俊一郎、石田善人、京都西陣、勝井景一郎、大原勝井家、大原同名中惣、組掟、32ヶ条、一味同心、裏切り、内通、卑怯の儀、得道具、奉行、両年奉行、出城禁止、近い城に談合、謀反、切腹、印は勝手に押さない、他所より人間は隠し事、あつかり候者、成敗、我人請、荒地、百姓草刈り、牛馬はなし、くるかりめ大法、毒飼、自然毒飼、甲賀全域禁止、与掟14条、不主知に札立、あしだ、草履、頭巾、四州わたばおうし、のりうち、かさどがめ、かぶり笠自由、押売禁止、炭焼きの規定、博打禁止、手引、内通、殺人、放火、盗賊の禁、多数決、賛否同数、くじ結着、多数決、一揆連判、永禄13年(1558)、上忍、中忍、下忍、武将から請けた謀報、謀略、暗殺、作戦指導、下入派遣、他国では、松明合図で情報交換、階級、
特別企画	戦国忍者ものしり帳	戦国忍者の生活		名和弓雄	時代考証家	夜盗、群盗、忍者、妖者の術、鉢屋一党、『本朝鉢屋由来記』、天皇の御旅、番人、守戸、盗賊追捕、北条五代、ゲリラ線、武田軍、怨めしの風魔が忍びや、あら辛の乱波が夜討や、放火、略奪、殺人、武田勝頼、透破、向坂基内、山賊、滝川政次郎、「二条陣屋の研究」、早稲田大学比較法研究所、戦国武術の精華、偷盗の術、鈴鹿山、山賊、奥瀬平七郎、合武伝奥物見巻、伊賀甲賀の者、仮の妻、他人の娘、息子、我が子、警戒、伊乱記、逆茂木、土居高く、毎朝寅の刻、七ツ刻、午前四時、軍術兵道、午後家業、忍者の情報収集、薬売り、行商人、組紐、僧侶、山伏、神官、巫女、虚無僧、変装、放下師、手品使、傀儡くづつ、琵琶法師、猿回し、座頭、乞食、梓巫女、健保職人歌合、歩き巫女、市子、口寄せ、県語、笹帯、白湯文字、旅女郎、望月千代女、信濃国小県郡、上田市、瀬津村古御館、望月三郎、血縁、
特別企画	戦国忍者ものしり帳	戦国忍者の虚実		名和弓雄	時代考証家	火薬、口火、火器、煙玉、光玉、音玉、鉄砲、火矢、宝祿、焰硝火薬、黒色火薬、硝石、居多う、木炭、潜水具、こりゅうぐつ、刀を背負わない、忍び装束、名取三十郎藤一水、正忍記、茶染め、ぬめり柿、黒、紺、花色、黒一色、逆に目立つ、手甲、頭巾、輪帯、羽織、外被、上着、長袋、脚絆、袴、足袋、鎖帷子、重い、遁走、水蜘蛛、水面を歩けない、『萬川集海』、携帯ポート、折りたたみ式、五つの木の箱、内部にカボック、忍び熊手、非科学的、空想論、クノーに術、セックスアピール、美しく育てる他人の娘、美女、